

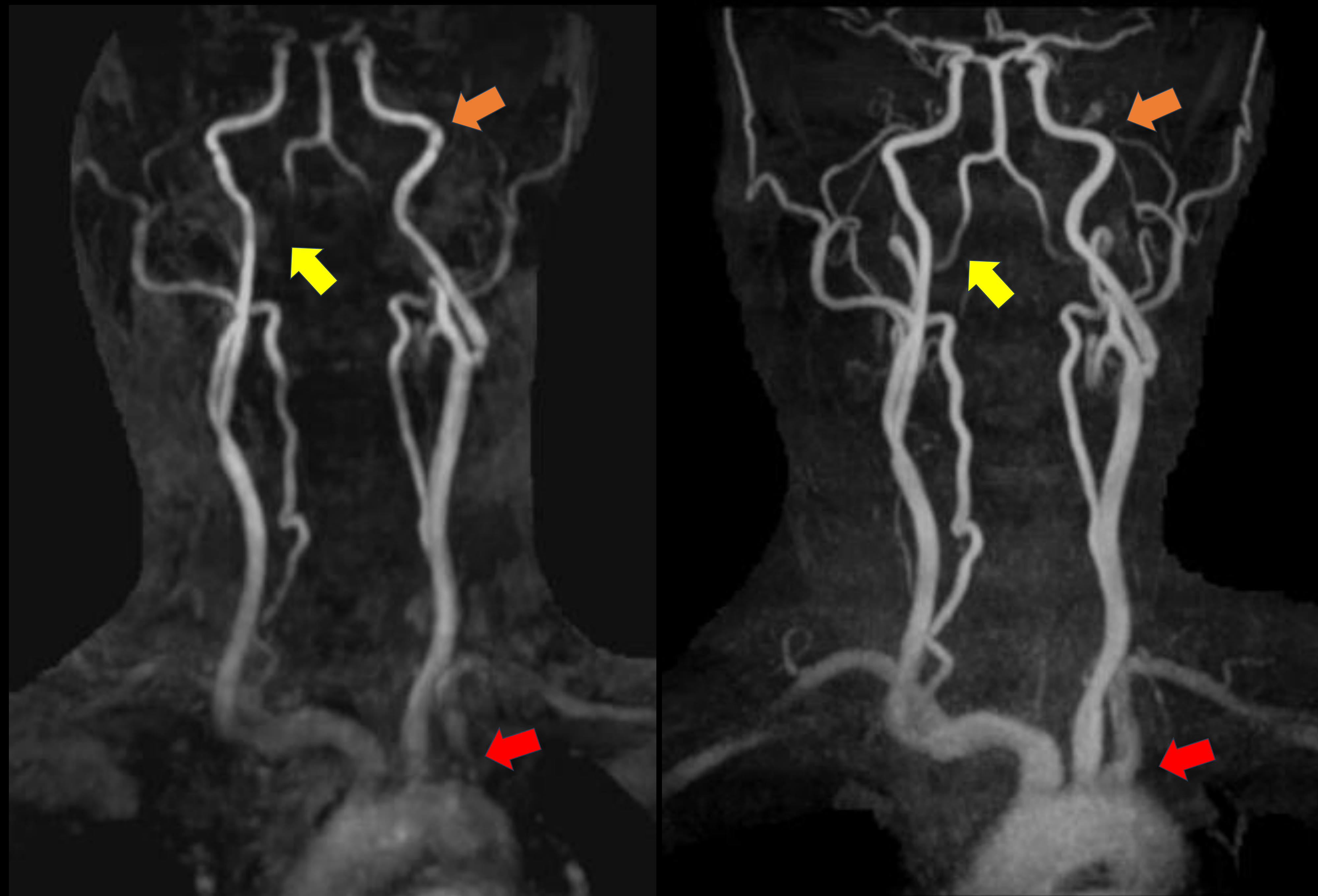
2point DIXON法を用いた頸部MRA（FLEXA）～撮像時間2分！！～

頸部MRAはTOFを用いた撮像が一般的で4-6分程度かかる。

2point DIXON法を用いたFLEXAは、**1mmiso voxel**と高分解能でありながら**約2分**で撮像可能で、均一な脂肪抑制効果が得られる。またTEが従来のTOFより短縮できるため、位相分散が抑えられ、血管の湾曲部のアーチファクトやステントの影響も低減できる。

TOF

FLEXA

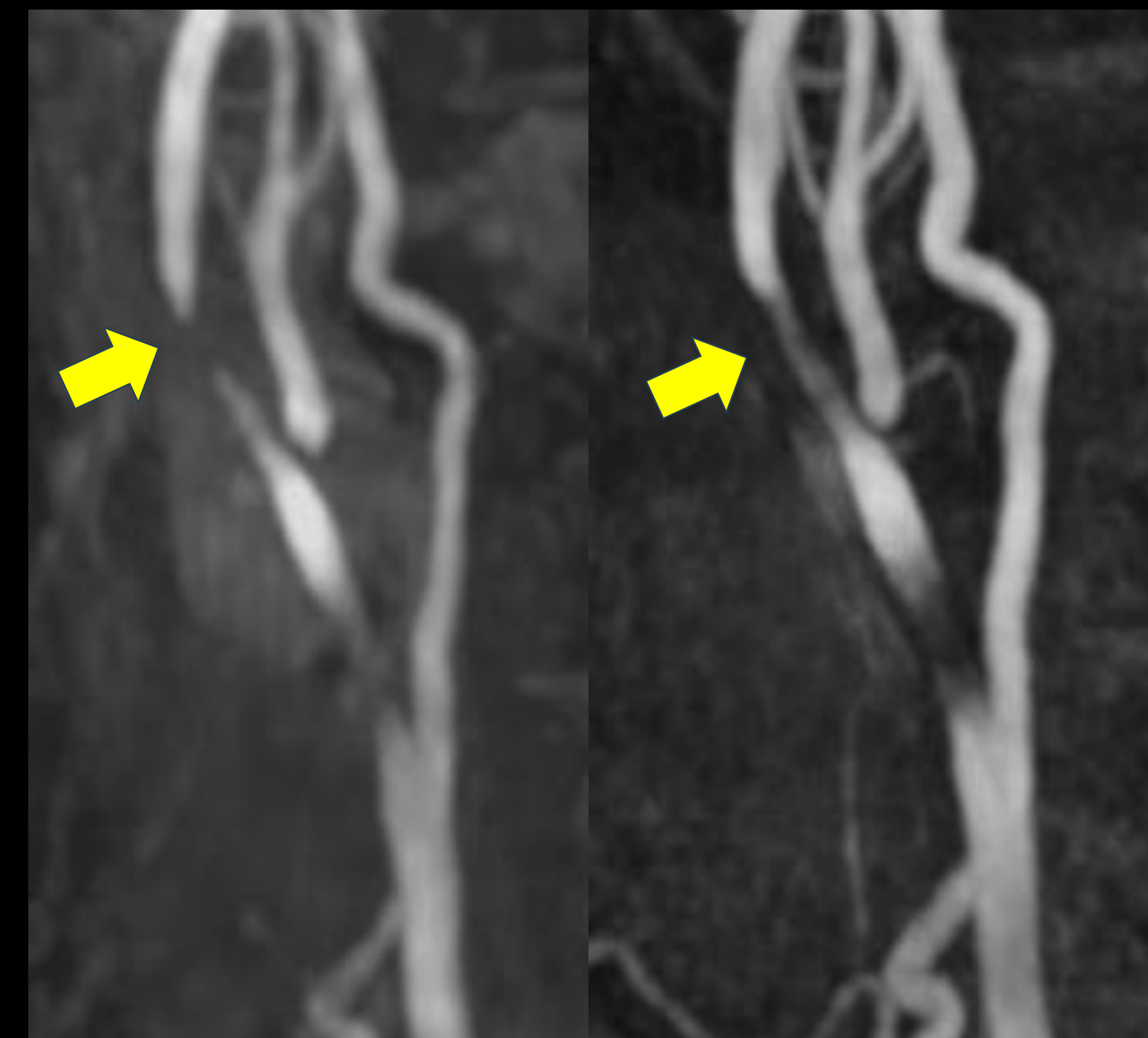


Case 1 無症候性右側内頸動脈狭窄疑い

- ・ TOFでは内頸動脈でアーチファクトが見られるがFLEXAでは改善されている（**➡**）
- ・ 椎骨動脈の描出が改善されている（**➡**）
- ・ 大動脈起始部は、FLEXAが明らかに描出能に優れる（**➡**）

TOF

FLEXA



Case 2 CAS後

- ・ TOFでは走行が途切れている部分がFLEXAでは描出されている

	TOF	FLEXA
Voxel size (Freq × Phase × Slice thickness)	0.9 × 1.8 × 2.0	1.0 × 1.0 × 1.0
TE (ms)	3.4	2.1
Slab数	5	9
Scan time	3:30	2:13